

那覇空港構想段階 P I 活動の実施状況

— 目 次 —

1. 周知・広報	2
(1) 行政広報誌への記事掲載	2
(2) 新聞への記事掲載	8
(3) ポスター掲示	9
(4) ホームページへの情報掲載	10
(5) P I 開始式	17
2. 情報提供・意見収集	18
(1) 構想段階P I のためのレポートの配布	18
(2) パネル展示	19
(3) オープンハウス	20
(4) シンポジウム	22
(5) 説明会	23
(6) 献談会	26
3. 【参考1】構想段階P I を紹介する新聞報道	27
4. 【参考2】その他構想段階を紹介する新聞報道	43

○沖縄県（1誌）

沖縄県：広報誌「美ら島沖縄」1月号

各施設行事予定表

県立図書館

◆古文書 TEL:0980-72-2317

◆二葉(ダイエット便り)

1月5日(土)～1月3月(日)

◆郷土研究会(1月定期会)

1月11日(木)

八重山美術 TEL:0980-52-2145

◆山の日(1月)～山の日(3月)

1月25日(土)～1月26日(日)

☆休日毎日 毎週火曜日、祝日、

1月22日(木)

料金 一般2,000円、当日500円

TEL:098-866-2341

県立博物館・美術館

◆美術企画展

「南から北へ 美術家たちの「南洋経験」」

1月18日(木)～2月1日(日)

入場料一般2,000円、高校生・大学生600円、

小中学生300円

◆企画展

「南洋でた日本列島2008」

「沖縄考古学コース」

1月9日(土)～3月1日(日)

入場料一般450円、高校生・大学生200円、

小中学生100円

TEL:098-941-8200

県広報からのお知らせ



お知らせ

ラジオ県民室

ご意見・ご提言

募集中

放送時間/毎週曜日～金曜日

ラジオ沖縄 84MHz 15:00～15:55

FM 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

放送に対する意見・ご意見をメール・

FAX、手書きで郵送して下さい。

※記入欄は空欄でOKです。

詳しくはホームページへ

<http://www.pref.okinawa.jp/>

県広報 T900-5570 那覇市波波1-12-2 TEL:098-860-2020 FAX:098-860-2467 kouhain@pref.okinawa.jp

那覇空港に関する意見募集

国と県では、那覇空港の本日の走路のあり方にについて、皆さんからの意見を広く募集しています。

検討内容などをまとめたパンフレットを沖縄総合事務局、県庁、各市町村、モノレール会議などに配布しています。

●募集中 ●開口せ ●沖縄総合事務局那覇空港

フロジエクト開口

TEL:098-966-1907

TEL:098-966-1908

TEL:098-966-1909

TEL:098-966-1910

TEL:098-966-1911

TEL:098-966-1912

TEL:098-966-1913

TEL:098-966-1914

TEL:098-966-1915

TEL:098-966-1916

TEL:098-966-1917

TEL:098-966-1918

TEL:098-966-1919

TEL:098-966-1920

TEL:098-966-1921

TEL:098-966-1922

TEL:098-966-1923

TEL:098-966-1924

TEL:098-966-1925

TEL:098-966-1926

TEL:098-966-1927

TEL:098-966-1928

TEL:098-966-1929

TEL:098-966-1930

TEL:098-966-1931

TEL:098-966-1932

TEL:098-966-1933

TEL:098-966-1934

TEL:098-966-1935

TEL:098-966-1936

TEL:098-966-1937

TEL:098-966-1938

TEL:098-966-1939

TEL:098-966-1940

TEL:098-966-1941

TEL:098-966-1942

TEL:098-966-1943

TEL:098-966-1944

TEL:098-966-1945

TEL:098-966-1946

TEL:098-966-1947

TEL:098-966-1948

TEL:098-966-1949

TEL:098-966-1950

TEL:098-966-1951

TEL:098-966-1952

TEL:098-966-1953

TEL:098-966-1954

TEL:098-966-1955

TEL:098-966-1956

TEL:098-966-1957

TEL:098-966-1958

TEL:098-966-1959

TEL:098-966-1960

TEL:098-966-1961

TEL:098-966-1962

TEL:098-966-1963

TEL:098-966-1964

TEL:098-966-1965

TEL:098-966-1966

TEL:098-966-1967

TEL:098-966-1968

TEL:098-966-1969

TEL:098-966-1970

TEL:098-966-1971

TEL:098-966-1972

TEL:098-966-1973

TEL:098-966-1974

TEL:098-966-1975

TEL:098-966-1976

TEL:098-966-1977

TEL:098-966-1978

TEL:098-966-1979

TEL:098-966-1980

TEL:098-966-1981

TEL:098-966-1982

TEL:098-966-1983

TEL:098-966-1984

TEL:098-966-1985

TEL:098-966-1986

TEL:098-966-1987

TEL:098-966-1988

TEL:098-966-1989

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-1993

TEL:098-966-1994

TEL:098-966-1995

TEL:098-966-1996

TEL:098-966-1997

TEL:098-966-1998

TEL:098-966-1999

TEL:098-966-1990

TEL:098-966-1991

TEL:098-966-1992

TEL:098-966-19

読谷村：「広報 よみたん」 1月号

嘉手納町:「広報 かでな」 1月号

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階 P1/パンフレットの内容について皆様からの意見を広く募集しています。

お問い合わせ先

沖縄総合事務局開発建設部

那覇空港プロジェクト室

TEL 866-1907 FAX 861-9916

<http://www dc.ceb.go.jp/>

Kyoku/information/nahakuukou/index.htm

をおった
や
に！

務省(の職員)
さり、郵便が
や最寄り駅
り)にご連絡

賃金！

額

月 31 日

懇親会場

861-9916

警察安全相談

862-8110

拳銃情報

867-1

性犯罪情報

862-1

暴力団情報

862-1

862-8110

110

862-1483

868-0110

*現行の制度には産業労働省が資金が定められています。

詳しいお問い合わせは
沖縄労働局又は各支所の労働基準監督署へ

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構想段階 P1/パンフレットの内容について皆様からの意見を広く募集しています。

お問い合わせ先

沖縄総合事務局開発建設部

那覇空港プロジェクト室

TEL 866-1907 FAX 861-9916

<http://www dc.ceb.go.jp/>

Kyoku/information/nahakuukou/index.htm

沖縄の将来像に対するご意見を募集しています。

県では、将来的(2030年)のあるべき沖縄の姿を描く「沖縄21世紀ビジョン」を作成しており、県民意見を広く募集するため、パンフレットを配布しています。

ご意見の提出方法は、パンフレットに添付したハガキに、ご意見等を記入の上、投函して下さい。

また、県ホームページからもご意見することができます。

パンフレットは、嘉手納町役場・沖縄企画財政課や町立図書館、県企画調整課などで配布しています。

お問い合わせ先

沖縄企画部企画調整課 TEL 868-2026

入居者募集！

平成20年1月1日現在

嘉手納町民住宅

(マルチメディアセンター設置)賃料支付

間取り	家 貸	空 家
1LDK	40,000円	1 家

マルチメディアセンター講習会

2月 (毎週 10名)

○ Excel講座 (テキスト料 ￥2,100)

2/2・4・6・8・9・11・13 (月・水・金)

19:30-21:30 2時間6回

○ パソコン入門講座 (テキスト料 ￥1,050)

2/16・18・20・23・25・27 (月・水・金)

19:30-21:30 2時間6回

お問い合わせ先 嘉手納町マルチメディアセンター

TEL 956-1140 FAX 956-1145

嘉手納町役場 再開発推進課 TEL 956-2222

年末・年始の青少年育成運動 1月 15 日まで実施中
マイスローガン “育て！ジャパン” 21

北谷町：「広報 ちやたん」 1月号

北中城村：「広報 北中城」 1月号

* 家計調査にご協力ください *

平成21年2月から、北中城村で「家計調査」を行うことになりました。

家計調査は全国から168市町村、約8,000世帯を選定して行われており、家計の収支を家計簿に記入してもらうことによって、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにする統計調査です。調査結果は、国の政策や様々な統計の基礎資料として、広く利用されています。

この調査は、対象となった市町の方に、県から任命された調査員が伺って、家計簿の記入をお願いする方法で行います。

お答えいただいた内容を、統計以外の目的に使用することは、法律で固く禁じられています。

調査員が伺いましたら、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

【問い合わせ】沖縄県企画部統計課消費農林統計班 TEL066-2050

那覇空港に関する意見募集

那覇空港の構造改修パンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。

【問い合わせ】沖縄総合事務局開発建設部 空港プロジェクト室 TEL866-1907

ホームページ <http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/Information/nahakukou/index.htm>

新築住宅の引渡しに資力確保措置 (保険または供託)が義務付けられます

「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」が平成21年10月1日から施行されます。この日以降に引き渡す住宅は、保険加入か保証金の供託が必要です。

建設業者・宅地建物取引業者の皆様へ「保険等の準備はお済みですか?」

特に保険は工事中に検査を行うため、着工前の申込みが必要なので、準備をお忘れ無く。

住宅を購入される皆様へ「保険や供託の確認をお忘れ無く」

住宅購入される際は、その住宅がきちんと保険や供託の措置をとられているか忘れずに確認しましょう。

【問い合わせ】国土交通省住宅局住宅生産課 TEL03-5253-8111(代表)

(2) 新聞への記事掲載

12月14日 P I 開始前 (琉球新報、沖縄タイムス)

12月30日 シンポジウム広告（琉球新報、沖縄タイムス）

1月15日 構想段階P.I.意見募集（琉球新報、沖縄タイムス）

1月15日 構想段階 P I 意見募集（琉球新報、沖縄タイムス）

(3)ポスター掲示

掲示: 1,500枚	公共施設 : 302 枚
	各種団体の施設等 : 1,144 枚
	PI会場等 : 54 枚



ポスター(B2版)



チラシ(A4版 左:表面 右:裏面)



シンポジウム チラシ(A4版 左:表面 右:裏面)



県民広場



県庁



那覇市役所

(4)ホームページへの情報掲載

○那覇空港プロジェクト

<http://www.dc.ogb.go.jp/Kyoku/information/nahakuukou/index.htm>

那覇空港プロジェクト

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部
那覇空港プロジェクト室

文字サイズを変える 大 中

MENU

- これまでの活動
- ▶構想段階
- ▶総合的な調査
- 那覇空港の概要
- ▶那覇空港の概要
- 用語解説
- ▶用語解説

Get Adobe Reader PDF形式の資料をご覧いただくにはAdobe Readerが必要です。お持ちでない方は「Adobe Reader」からAdobeウェブサイトでダウンロードして下さい。

那覇空港構想段階PIを開始しました！アンケートにご協力下さい

那覇空港構想段階PI 動画配信

Windows Media Player 動画を再生するにはWindows Media Playerが必要です。お持ちでない方は上のロゴをクリックして、Microsoftのサイトからダウンロードして下さい。

下記ファイルをクリックして下さい（Windows Media Playerが起動します）。再生できない場合は、ダウンロード（右クリック>ファイルを保存）して再生してみて下さい。
⇒【動画】「滑走路増設案の決定に向けて」(11分)(WMV: 36MB)
⇒【動画】「滑走路増設案の決定に向けて」詳細版(18分47秒)(WMV: 326MB)

レポート (PDF:16MB) レポート(詳細版) (PDF:33MB)

⇒アンケートにご協力下さい！(記入はこちらから)

那覇空港プロジェクト

H P トップ

アンケートにご記入くださる方、ご自身についてお答え下さい。

住所 _____県 _____市・町・村
性別 男性 女性
年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代
職業 会社員 その他

那覇空港の将来対応方策案に関する調査についてお答え下さい。

□ 今回知った PIステップ3(昨年) PIステップ2(一昨年) PIステップ1(三年前) それ以前から知っていた

これまでPIでアンケートに回答したことがありますか。
□ ある(PIステップ3) ある(PIステップ2) ある(PIステップ1) ない

現在、PIを実施していることを何で知りましたか。
□ 広告(新聞等) 周囲の人から 電話(テレビニュース、新聞等) ポスター
□ 雑誌(県、市町村広報誌等も含む) インターネット
□ PIレポートの入手場所 その他

報告書の内容について、どの程度ご理解いただけたかお答えください。

A理解できた Bあら程度理解できた Cあまり理解できなかった D理解できなかった

問1 構想段階は、那覇空港の増設滑走路の概ねの位置・形状を決定する段階であること。 A B C D

問2 本アンケートは、PIの一環として実施されており、この意見が参考となり、増設滑走路の位置が決定されること。 A B C D

問3 最新的手法及びデータを用いた需要予測により、施設の必要構築等を検討した内容。 A B C D

問4 実際に運用及び那覇空港周辺空域の現状を踏まえ空港能力について検討した内容。 A B C D

問5 総合的な調査で提示した3案を基本としつつ、自然環境、社会環境への影響低減、コスト縮減等の観点から、滑走路建設の最適な配置位置について検討した内容。 A B C D

問6 那覇空港周辺市等から、瀬長島改変への反対、大瀬崎にある拝所等への配慮、騒音問題の改善要請について、要望等がされていること。 A B C D

問7 瀬長島改変が生じる配置案については、地元の合意を得ることが困難として構想段階検討から除外したこと。 A B C D

問8 那覇空港の特徴を踏まえ、多様な観点から評価項目を検討した内容。 A B C D

問9 現滑走路と増設滑走路の間隔が異なる2案について比較評価した結果。 A B C D

▲Page Top

報告書の内容について、ぜひご意見を聞かせてください。

増設滑走路2案(A案・B案)についてどう思いますか。(400字以内)

構想段階PIに関するアンケート

<p>沖縄県H P</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">交通政策課ホームページ</p> <p>English is here ようこそ。あなたは 2003.11.1登録</p> <p>交通概要 沖縄県総合交通体系 基本計画 航空支線整備の 具体化に向けた取り組み (建設省の監督方針)</p> <p>業務概要 リンク</p> <p>沖縄県企画部 交通政策課 TEL: 098-866-2045 FAX: 098-866-2448</p> <p style="text-align: center;">那覇空港の総合的な調査</p> <p>● 那覇空港の構想段階P-Iを開始しました。<アンケートにご協力ください!>(平成20年12月15日)(沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室のサイト) アンケートの実施期間:平成20年12月15日(月)～平成21年2月6日(金)</p> <p>● 那覇空港の構想段階P-Iを開始しました。<アンケートにご協力ください!>(平成20年12月15日)(沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室のサイト) アンケートの実施期間:平成20年12月15日(月)～平成21年2月6日(金)</p> </div>	<p>那覇市H P</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> <p>お問い合わせ</p> <p>那覇空港に関するご意見を募集します</p> <p>国と沖縄県では、那覇空港の今後の整備のあり方について調査、検討を進めております。その調査結果については、広く県民等に情報をお伝えし、意見の収集を行なうパブリック・インボルブメント(ゴー住民参加)を段階的に実施してきました。</p> <p>これまでの調査結果を踏まえ、那覇空港については、今後具体的な将来対応策の検討を進める必要が示されたことから、今年度本目の滑走路の整備のあり方について、皆様からのご意見を募集します。</p> <p>詳細は、沖縄県ホームページ内「那覇空港プロジェクト」をご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">那覇空港 プロジェクト</p> <p>募集期間</p> <p>平成20年12月15日(月)～平成21年2月6日(金)</p> <p>お問い合わせ先</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖縄総合事務局開発建設部 那覇空港プロジェクト室 電話:(098)866-1907 那覇市 経営企画室 電話:(098)862-9937 <p>更新日:2008年12月15日</p> </div>
---	--

<p>宜野湾市H P</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> <p>お問い合わせする窓口選択</p> <p>宜野湾市 トップページ 行政情報 各課のページ ご意見・ご要望 サイトマップ</p> <p>▶ 各課のページ >企画部 総務広報課: トップページ>総務広報課のページ一覧>ページタイトル</p> <p>■ 那覇空港に関する意見募集</p> <p>那覇空港の構想段階P-Iパンフレットの内容について、皆様からの意見を広く募集しています。 詳しくは、こちらをクリック→ 那覇空港プロジェクトホームページ (沖縄総合事務局)</p> <p>お問い合わせ先: 沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室 電話: 098-866-1907</p> <p>お問い合わせ: 企画部 総務広報課 TEL: 098-893-4411 (代表) [窓口内マップ] 市政広報係 (別館2階) 内線: 424 平和交流係 (別館2階) 内線: 402, 423 総務係 (本館2階) 内線: 200, 201</p> </div>	<p>浦添市H P</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"> <p>那覇空港構想段階P-Iを開始しました</p> <p>URASOE-CITY WEB 浦添市役所 溝添市安波茶1-1-1 098-876-1234</p> <p>[ホーム] [サイトマップ] [戻る]</p> <p>那覇空港構想段階P-Iを開始しました</p> <p><アンケートにご協力下さい> 国(内閣府沖縄総合事務局及び国土交通省大阪航空局)と沖縄県では、那覇空港の構想段階の検討にあたり、「那覇空港構造・施設計画検討協議会」を設置し、P-Iの手法を取り入れ、透明性を確保しつつ幅広い合意形成を図りながら検討を進めています。 レポートの内容について皆様からいただくご意見は、滑走路の配置等を決定する際の重要な要素となります。皆様のご意見をお待ちしています。</p> <p style="text-align: right;">詳しくはコチラをご覧ください</p> <p>お問い合わせ先: 沖縄県総合事務局那覇空港プロジェクト室 電話番号: 098-866-1907</p> <p>ご意見 [ホーム] [サイトマップ] [戻る]</p> </div>
--	---

<h1>名護市 H P</h1>  <h1>糸満市 H P</h1> 
--

南城市 H P

NANJO CITY 南城市

■ ホーム ■ 南城市について ■ 市政の情報 ■ 暮らしの情報 ■ 観光情報

沖縄県南城市ホームページ > [暮らしの情報](#) > リンク

リンク

行政について
住民制度・年金
税について
教育
住まいと暮らし
福祉
出生・育児
健康・医療
生活環境
生活基盤
老人施設
相談窓口
支の地
リンク

■ [南日本ハーフマラソン](#)
■ [東京マラソン](#)
■ [南城市青年連合会](#)
■ [南城市商工会](#)
■ [南都広報行財経会携勤賞ライフル](#)
■ [南島銀行](#)
■ [南島介護保険支那連合会](#)
■ [沖縄コンベンションセンター](#)
■ [沖縄タイムス\(新聞\)](#)
■ [琉球新報\(新聞\)](#)
■ [久高島](#)

■ 那覇空港プロジェクト 

■ [那覇空港プロジェクト](#)

国頭村 H P

◆国頭村 森と水とやすらぎの里“くにがみ”

● 概要 ● 組織 ● 産業 ● 財政 ● 教育 ● 福祉 ● 医療 ● リンク

新着情報

新着一覧

NEW	2009/01/19	平成20年度・国頭村産業まつり開催!
NEW	2009/01/08	『与那の力にうみモニターシー・国頭村産業まつり連携』募集
	2008/12/26	国頭村スポーツキャンプ情報
	2008/12/15	那覇中央・国頭ふれあい祭集
	2008/12/10	やんばるの森・森林セラピーモニター募集のお知らせ
	2008/12/09	『帝豪(おちくわい)の宿』PR講習会講習者募集のお知らせ
	2008/12/08	『清新スポーツ・杯 第1回やんばる国際 全国にわせめりークゴルフ大会』参加募集。
	2008/12/07	第1回県からの提案～百選～及び平成20年度主要競技コース沿道花一秤奉納大会・昇景競聘(主催:(社)沖縄県)に木村耕作市議会議員候補公演について
	2008/12/06	平成20年度比地大瀧選手改選工具ご採用停止について

2008/12/15

那覇空港に関する意見募集

東村HP

今帰仁村HP

沖縄県 今帰仁村
OKINAWA VILLAGE NAKIJIN

トップ 新着情報 村の概要 暮らしの手帳 世界遺産 観光情報 イベント情報

サイトマップ サイト内検索 検索 文字の大きさ: 大 中 小

農が織りなすゆがふむら・今帰仁

お知らせ

- ボットクリーン駆除キャンペーンについて(サイバーグリーンセンター)(09.01.25)
- 今帰仁村商店用分譲地内について(09.01.07)
- 今帰仁村と今帰仁城跡周辺用映像撮影試験実施について(09.01.01)
- 第2回今帰仁城跡周辺用映像撮影(08.12.26)
- 第3回今帰仁城跡周辺用映像撮影(08.12.19)
- 第4回今帰仁城跡周辺用映像撮影(08.12.15)
- 平成21年度建設工事入札実施規則審査申請者の受付について(08.12.15)
- 平成21年度村立施設新築工事について(08.12.01)
- 「村営(0)」の企画について(08.10.15)
- 地上デジタル放送への移行(08.09.30)
- 今帰仁村人事行政の運営(08.09.29)
- 今帰仁村もじり安らぎ(08.09.24)
- 今帰仁村ひやかわ(08.09.01)

注目情報

- 今帰仁村1月度 健康だにこな(09.01.05)
- 2005 村勢調査について(4,2MD, 00.04.15)
- シングル・バンガローの小合せはこちらから
- とれ! 桜まつり

・那覇空港に関する意見の募集について(08.12.15)

本部町HP

太陽と海と緑 - 観光文化のまち

Welcome

もとぶ

okinawa Motobu

新着情報

掲載日	タイトル	備考
2009年1月16日	【企画商工観光】八重岳桜の開花状況	
2009年1月15日	【総務課】本部町物品購入入札参加者登録申請について	
2009年1月9日	【総務課】離職者緊急雇用対策について	
2009年1月8日	【町役場】貸主ローン授権委任状登録	
2009年1月8日	【企画商工観光】広報誌とふる38号(1月)出来上がりました	平成21年1月17日～2月18日
2009年1月5日	【企画商工観光】広報誌とふる38号(1月)出来上がりました	
2008年12月19日	平成21～22年度本部町入札参加資格査定申請案内	平成21年2月27日まで
2008年12月16日	那覇空港に関する意見募集(那覇空港構想段階PI)	平成21年6月まで
2008年12月5日	【福】平成21年度保育所(園)入所児童募集	平成21年1月23日まで
2008年11月21日	【総務課】平成21年度本部町職員採用用従業者登録申請について	
2008年11月7日	【企画商工観光】平成21年本部町成人式のお知らせ	
2008年10月28日	【商】ご協力ください	
2008年10月10日	【商】意見箱について	
2008年9月30日	【企画商工観光】公金補償金免除協議の実施について	
2008年9月22日	【企画商工観光】平成21年鉄券制度がスタート	
2008年9月17日	【企画商工観光】新築請求方法について	
	バックナンバー	

2008年12月16日 那覇空港に関する意見募集(那覇空港構想段階PI)

与那原町HP





よなばるんちゅ広場
みんなの掲示板

[トップページ](#)

[マリータウン東浜](#)

[町長挨拶](#)

[与那原町の紹介](#)

[特産品](#)

[講々会](#)

[広報とおはる](#)

[組織機関図](#)

[手続情報](#)

[各課のお知らせ](#)

[与那原町国民保護計画](#)

[与那原町防災マップ](#)

[統計情報](#)

[みんなの文化財](#)
(PDF:13.3MB)

[インターネットのルール](#)

[リンク](#)


マリータウン東浜改修予想図
(クリックで画像が拡大します)

上下水道課庁舎移転のお知らせ
上下水道課庁舎の建て替えに伴い、平成20年9月16日(火)より新庁舎にて業務開始となります。(詳細は[こちら](#))

お知らせ (公告・公募等)
メニューの各項目のお知らせに各種条例・制度等について掲載しておりますので、そちらも確認ください。

>>>平成21年度・22年度 与那原町建設工事入札参加資格審査申請書提出要領について
記入説明は[こちら](#)(PDF)

>>>平成21年度・22年度 与那原町委託業務入札参加資格審査申請書提出要領について
記入説明は[こちら](#)(PDF)

>>>与那原町緊急雇用対策事業に係る臨時職員募集について

>>>平成20年度 与那原町職員採用候補者試験第一次試験合格者

>>>中小企業者への緊急保証制度が始まりました

>>>[那霸空港に関する意見募集\(リンク\)](#)

>>>第21回「なんどりマツソン大会」開催のお知らせ

>>>『島の宝 100』候補募集のお知らせ

>>>平成20年度 光コース沿道花一杯事業地域公共景観費の算定

>>>国際システムe-Taxご利用のお知らせ

マリータウン東浜
業務用地分譲案内

ふるさと納税のご案内
申込書は[こちら](#)(PDF)

平成18年度と那原町
収穫状況等一覧(PDF)

与那原町立図書館
蔵書検索システム



上記のQRコードを読み込むことで、蔵書検索ができます。

頒布する地方応援ログラム「子育て支援プロジェクト」

頒布する地方応援ログラム「海のまちアリバブダプロジェクト」

全国のまちと連携センター

2000年4月1日現在
00247342
人の登録者です

平成21年1月1日現在の 与那原町	
人口	世帯(外国人含む)
男	7,869人
女	8,128人
計	15,797人
世帯	5,714世帯
面積	5002km ²

➤ [那霸空港に関する意見募集\(リンク\)](#)

座間味村HP

ババ募集中!!

お同合わせ先一覧
座間味村/座間味村役場

★フェリーズまみ

季節情報

座間味村本エール・オッショング
協会 本日のジグソーパズル

泊8:10:00 座間味8:14:00 阿嘉島8:14:30 泊16:00 ★予約受付は10:00~17:

ホエールウォッチングフェス
タ2009 ♪現在の花カジラ

観光案内所内ログ
「さまみ便り」

座間味村役場から

サンゴのふるさと
座間味村応援寄附金
この海へ島々に
あなたのご支援を

お知らせ一覧

△柿内ご協力ください

1月の座間味村カレンダー

応報まで48号

平成21~22年度入札参加
資格審査申請の受付について

new! あなたの声を村政に

new! 水資源最新情報

環境的観を考慮する住民会議

座間味村環境プロジェクト

慶良間自然環境保全会議

阿嘉・養蓄間プロジェクト

村の紹介

歴史

季節イベント2008

名所・旧跡

座間味村の概要

リンク

座間味村役場から

ロイナーネット村政窗口

村へのご意見をお寄せください。
(お)の「[ページをクリック](#)」

□住民の皆さん、行政サービス改善窓口欄に声をかけてください→[ページをクリック](#)

役場の組織・と行政について

new! □座間味村集中改革プラン 17~19年度取組実績と20年度以降の方針(PDF)

new! □座間味村集中改革プラン 18年度指針の取組状況(PDF)

□座間味村の橋の会との自管管理について

□座間味村が扶助金等の給与等の見直しに向けた取組方針(H20.5.2 PDF)

□座間味村の財政状況一覧(平成20年度) PDF

□座間味村の財政状況一覧(平成21年度) PDF

□役場案内の案内に連絡先 (平成20年1月)

□座間味村行財政改革推進計画(集中改革プラン) PDF 282 Kbyte

□[PDF](#) [Adobe Reader](#) をご観るには、Adobe(R) Readerが必要です。

ダウロードするには上のアイコンをクリックしてください。

お知らせさひら (新着情報)

発信日 内容(クリックで詳しい情報をご覧いただけます)

1月22日 商工会主催で「農業セミナー」が開催されます。

1月15日 緊急! 柿内ご協力ください!

1月7日 平成21年 座間味村の歴史・式典祝式・祝賀会

12月22日 年末年始のごご取扱いについて

12月18日 水がめのビンチです! 柿内ご協力下さい。

12月17日 メモリキット予めハルクアトラリムの参加者募集します

12月15日 那覇空港構想段階PFI(パブリック・インボルブメント) 意見募集開始

12月9日 12月9日から59日かけての伊電と

△ハルクアトラリムの間接ご予約

12月8日 日に入電相談所で相談します

12月20日 水道料金改定に関する説明会を開催します

11月30日 工事のため通行止めのお知らせ

△改定に関する説明会を開催します

△めのビンチです! 柿内ご協力下さい

△メモリキット予めハルクアトラリム

△月は祝などの休日整理強化月間です

△ご利用ください

△(10月22日、23日)に伴う立入・航行禁止区袖について

12月15日 那覇空港構想段階PFI(パブリック・インボルブメント) 意見募集開始

9月17日 □座間味村教育行政の運営状況について

9月17日 座間味村全島の隣接水害解除します

9月17日 漁業セミナーご協力ください

△日々の運営について

(5) PI開始式

日 時：平成20年12月15日(月)

場 所：県民広場（県庁前）

参加者：（沖縄総合事務局）森田次長、吉永開発建設部長
（沖縄県）仲里副知事、上原企画部長（那覇空港事務所）菅野空港長
（那覇市）上地企画財務部副部長（豊見城市）座安企画部長
ミス沖縄2名 他



構想段階PIの開始にあたり挨拶



PI開始式の様子



チラシ配布の様子



チラシ配布の様子



チラシ配布の様子

2. 情報提供・意見収集

(1)構想段階PIのためのレポートの配布



那覇空港2階ゲートラウンジでの設置



ローソン泉崎店での設置



モノレール県庁前駅での設置



モノレール儀保駅での設置



モノレール牧志駅での設置

(2)パネル展示

	場所	期間
1	那覇空港(3階北側ギャラリー)	1/5～2/6 (33日間)
2	沖縄総合事務局	12/22～2/6 (28日間)
3	モノレール県庁前駅	1/4～1/7、1/9～1/18 (14日間)
4	モノレール小禄駅	12/22～1/4 (14日間)
5	モノレールおもろまち駅	12/22～1/4 (14日間)



那覇空港（3階北側ギャラリー）



沖縄総合事務局



モノレール県庁前駅



モノレール小禄駅



モノレールおもろまち駅

(3)オーブンハウス

	場所	期間	参加人数
1	沖縄県庁	1/6～2/6 (23日間)	880人
2	石垣市役所	1/19～1/23 (5日間)	155人
3	糸満市役所	1/13～1/23 (9日間)	367人
4	浦添市役所	1/19～1/23 (5日間)	87人
5	うるま市役所	12/22～12/26 (5日間)	146人
6	宜野湾市役所	1/19～1/23 (5日間)	81人
7	豊見城市役所	1/6～1/16 (8日間)	490人
8	名護市役所	2/2～2/6 (5日間)	318人
9	那覇市役所	1/19～1/30 (10日間)	872人
10	南城市役所	1/26～1/30 (5日間)	182人
11	嘉手納町役場	2/2～2/6 (5日間)	128人
12	金武町役場	1/13～1/16 (4日間)	39人
13	北谷町役場	12/22～12/26 (5日間)	40人
14	西原町役場	1/26～1/30 (5日間)	34人
15	南風原町役場	2/2～2/6 (5日間)	169人
16	本部町役場	12/22～12/26 (5日間)	172人
17	八重瀬町役場	1/26～1/30 (5日間)	119人
18	与那原町役場	12/22～12/26 (5日間)	47人
19	那覇空港 (ウェルカムホール)	1/5～2/6 (33日間)	2,264人
20	宮古空港	1/26～1/30 (5日間)	256人
21	沖縄県男女共同参画センター ているる	1/13～1/16 (4日間)	60人
22	県立図書館	1/28～2/2 (6日間)	296人
23	パレット久茂地	1/3,4,13,17 (4日間)	278人
24	ジャスコ南風原	1/10～1/12 (3日間)	171人
25	ジャスコ那覇	1/17,18 (2日間)	75人
26	ジャスコ北谷	1/17,18 (2日間)	147人
27	ジャスコ名護	1/24,25 (2日間)	155人
28	ジャスコ具志川	1/31,2/1 (2日間)	50人
29	プラザハウス	1/10～1/12,17,18 (5日間)	65人
30	名護さくら祭り	1/31,2/1 (2日間)	85人



沖縄県庁



那覇市役所



那覇空港（ウェルカムホール）



宮古空港



パレット久茂地



ジャスコ那覇



プラザハウス



名護さくら祭り

(4)シンポジウム

題目：那覇空港構想段階PIシンポジウム 沖縄の未来へ、ティクオフ！ 那覇空港の2本目の滑走路増設に向けて	場所：パレット市民劇場
日時：平成21年1月8日(木)15:00～17:00	参加人数：197人
	
沖縄県副知事挨拶	沖縄総合事務局長挨拶
	
第1部 基調講演「ペルー・日本・沖縄～ウチナンチュの一人として～」講師：アルベルト城間	
	
構想段階PIの説明	第2部 公開討議（パネルディスカッション）
	
会場の風景	パネルディスカッションの様子

(5) 説明会

場 所：おきでんふれあいホール	対象：一般県民（那覇地区）
開催日：平成21年1月14日（水）	参加人数：43人

場 所：沖縄市民会館	対象：一般県民（中部地区）
開催日：平成21年1月15日（木）	参加人数：43人

場 所：沖縄県庁	対象：一般県民（南部地区）
開催日：平成21年1月20日（火）	参加人数：112人

場 所：糸満市農村環境改善センター	対象：一般県民（糸満地区）
開催日：平成21年1月20日（火）	参加人数：55人



場 所：豊見城市立中央公民館	対象：一般県民（豊見城地区）
開催日：平成21年1月21日（水）	参加人数：59人



場 所：浦添市産業振興センター・結の街	対象：一般県民（南部地区）
開催日：平成21年1月29日（木）	参加人数：33人



場 所：名護市労働福祉センター	対象：一般県民（北部地区）
開催日：平成 21 年 1 月 30 日（金）	参加人数：44 人




(6)懇談会

	対象	回数	参加人数
1	地域住民	10回	350人
2	空港・航空関係者	4回	122人
3	経済団体等	13回	384人
4	大学	1回	22人



地域住民



空港・航空関係者

大学



経済団体等

3. 【参考1】構想段階PIを紹介する新聞報道

日付	新聞紙名		見出し
平成20年 12月9日 (火)	琉球新報	夕刊1面	1310m・850m沖合2案に PI実施、年度内決定
	沖縄タイムス	夕刊1面	滑走路増1310・850m案に 15日から住民意見収集
12月10日 (水)	琉球新報	朝刊2面	県「1310m」に自信
	沖縄タイムス	朝刊2面	増設2案で意見収集 構想評価委PI内容了承
12月12日 (金)	琉球新報	朝刊2面	「自衛隊機沖合側に」県、3市が意見交換
12月16日 (火)	琉球新報	朝刊2面	滑走路で積極意見を PI募集始まる
	沖縄タイムス	朝刊2面	那覇空港滑走路2案のPI開始
12月17日 (水)	沖縄建設新聞	1面	那覇空港構想段階PI 2案で意見募集
12月18日 (木)	琉球新報	朝刊2面	県負担は100億円想定
12月20日 (土)	琉球新報	夕刊4面	本年度にPI集約
	沖縄タイムス	夕刊5面	滑走路増設を推進 那覇空港年度内に位置決定
12月22日 (月)	港湾空港 タイムス	3面	構想段階PI実施中 沖合2案で意見募集に
12月25日 (木)	琉球新報	朝刊2面	那覇空港新滑走路「1310mで」 地元3市が共同声明
	沖縄タイムス	朝刊1面	3市長、1310m沖合案支持 騒音軽減を要望
	沖縄タイムス	夕刊1面	「1310m超」求め決議 拡張促進連が臨時総会
12月31日 (水)	沖縄タイムス	朝刊2面	増設2案に絞り込む
平成21年 1月7日 (水)	沖縄タイムス	朝刊7面	経済界がステッカー
1月9日 (金)	琉球新報	朝刊2面	産業振興の基盤に 那覇でシンポ県民議論呼び掛け
	沖縄タイムス	朝刊2面	那覇空港滑走路増設シンポ 交流拠点早期整備を 県民議論の高まりを期待
1月15日 (木)	沖縄タイムス	朝刊2面	滑走路増設で説明会を開催
2月4日 (水)	沖縄タイムス	朝刊14面	「新滑走路1310m沖に」 美ら島大使香取氏講演
2月5日 (木)	琉球新報	朝刊21面	沖合展開で騒音抑制 那覇空港拡張 香取氏講演

1310 メートル
850 メートル

沖合2案に

那覇空港
新滑走路

PI実施、年度内決定

県と沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局でつく

る那覇空港構想・施設設計画

検討協議会は九日午前、県

庁で第二回会を開いた。

那覇空港の新たな滑走路増設案の候補について、現滑走路から千三百十メートルに建設する案と八百五十メートルの案の二案に絞り込んだ。

絞り込みを受け、二案について県民の意見を聞く構想段階PI（パブリックイノボルブメント）を十五日から来年三月までの日程で実施。PIの結果を踏まえ、年度内に増設案を一つに決定する。両案ともピーク時の最大発着回数は一日あたり五百九回まで拡大し、二〇三〇年度までの需

要に対応可能としている。千三百十メートルは概算工期

は約七年、事業費は約九百億円。当面はターミナルの展開用地（五十糝）の確保を見送ったため、大嶺崎の埋め立ては生じず、瀬長島の改変もない。地上走行距離は約三千メートル。

環境面での総合評価では「サンゴ礁生態系への直接的影響は大きい。サンゴ着床促進など実績のある方策により影響低減の可能性がある」と指摘した。

八百五十メートルは概算工期が八年、事業費は約二千億円。瀬長島の改変を回避する目的で沖合北側の水深が深い海域に建設するため、事業費が高い。地上走行距離は一千五百メートルと短い。

環境面では大嶺崎周辺区域の埋め立てが生じるほか、「海流が閉鎖的となり、底質変化に伴う大嶺崎南側の干潟生態系への影響が懸念される」と指摘した。

那覇空港構想協

滑走路増 1310・850メートル案に

15日から住民意見収集

那覇空港の滑走路増設計について、国と県で話し合った那覇空港構想・施設計画検討協議会は九日午前、県庁で第二回の会議を開き、パブリックインボルブメント（P.I.、住民意見を吸い上げる仕組み）を実施する滑走路増設案を既存の

三案から二案に絞り込んだ。二案は現滑走路との間隔を沖合に千三百十㍍、八百五十㍍離して建設する計画。今月十五日から約二ヶ月かけてP.I.を行い、その結果を踏まえ、今年度内に一案に絞り込む方針だ。

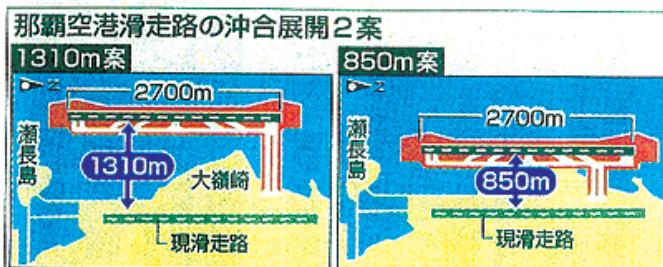
着回数は五百九回で二〇三〇年度の旅客需要に対応。瀬長島の地形変更への影響はないが、八百五十㍍は大嶺崎の一部に改編を伴う。総事業費は千三百十㍍が約千九百億円（工期約七年）、一部で水深が深い八百五十㍍が約二千億円（同

約八年）。埋立て面積の広い千三百十㍍がサンゴ消失が比較的大きく、干潟生態系への影響は八百五十㍍が大きいとされる。千三百十㍍は、空域条件が整えば同時離着陸が可能。当初示されていた三案のうち、二百十㍍とする案は、地元か

ら「地形変更は容認できない」と反発が強く技術検討から除外された。新たに提示された八百五十㍍案は滑走路全長の縮小などに伴い、九百三十㍍案を修正。瀬長島に影響を与えない最小の間隔で、概算事業費などを抑えた。

県「1310メトル」に自信

那霸空港滑走路増設



那覇空港の二本目滑走路について、前回P-1(一〇〇七年)では二百十候案を含む三案が示された。しかし、地域に近い案に地元の意見が反映され、那覇市が環境の観点から反対し、地元への配慮で検討対象から外れた。

最終候補の二案のうち、より沖合側の千三百十候案の方が工期も短く、事業費も安い。八百五十候案は瀬長島の改変を避けるため、北側の水深の深い水域を埋め立てるためだ。

県庁内には「比較検討」とはいえ、千三百十候案が選

「抜肢として残れば、多くがこの案を支持する」との趣旨で、滑走路増設案のP-I計画を承認した。

PIでは、千三百六十枚と八百五十枚の増設二案の比較評価について、県民や空港利用者から意見を募集する。十五日から二月六日までの約八週間、アンケートはがきで意見を回収。同委員会は取りまとめ結果について、十分な意見集約ができているかどうかを評価する。PI意見を踏まえて増設案を修正する必要があると判断した場合は、修正した案についても再度、意見を

も含め、今後の懸案となる。
そのだ。（与那嶺松一郎）
沖縄総合事務局、県はより多くの意見を集めるため、増設案の内容を紹介するリポート八万部を県内各地で配布するほか、シンポジウム開催などで周知を図る。沖縄総合事務局那嶺空港プロジェクト室のホームページ（<http://www.dformation/nahaikuou/infodex.htm>）に情報を掲載する。

「軍民共用」火種も

那覇空港の沖合展開は、現滑走路から一千三百十㍍沖合と八百五十㍍沖合の二案に絞り込まれた。住民意見を集約するP.I.（パブリックインボルブメント）を踏

まえて来年三月中に増設案が決まるが、既に県や経済界では、P.Iで三千三百十议案がどれだけの支持を集めかに関心が移っている。

PI、信任投票の様相

一則が立がる。

漁が広がる

運用や施設配置の詳細はなく、調整は先送りされて

の高さが示されれば、一〇〇年度にも國が増設事業を探査するスケジュールが開けてくる。既に県や周辺自治体が千三百十议案への支持を表明し、経済界も同案の実現に向けて組織を挙げて取り組む構えで、P.I.はさながら「信任投票」の様相ともなっている。

る。九日の那覇空港構想・施設計画検討協議会で仲里全輝副知事は「民間の安全性を確保しながら、自衛隊には国防上の役割を果たしてもらう」と指摘。軍民共用を前提とする県の姿勢は、民間専用化を求める県議会野党の反発を招いている。自衛隊との共用がどう展開していくかは、政治的な火種も含め、今後の懸案となりそうだ。(与那嶺松一郎)

PI(パブリックインボルブメント)を実施する
那覇空港滑走路増設案の主な比較

項目	増設A(1310㍍)案	増設B(850㍍)案
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度までの航空需要に対応 事業費は安価。工期は短い 地上走行距離が長い 瀬長島・大嶺崎の地形変更なし サンゴ礁生態系などに影響大きい 空域条件次第で同時離着陸が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年度までの航空需要に対応 深い地点があり、事業費は高価。工期は長い 地上走行距離が短い 瀬長島への影響なし。大嶺崎の一部に改変 砂地干潟生態系への影響大きい
1日当たり発着回数	509回	509回
概算事業費	約1900億円	約2000億円
概算工期	約7年	約8年
埋め立て面積	約150㌶	約130㌶
地上走行距離 (滑走路～ターミナル)	約3000㍍	約2100㍍

※「特徴」で記した表現(安価、高価など)は、両案を比較したもの

那覇空港

増設2案で意見収集

構想評価委 PI 内容了承

那覇空港の滑走路増設計画について、住民意見を吸い上げるパブリックインボルブメント(PI)の在り

方を検討する那覇空港構想段階PI評価委員会(委員長・上間清琉球大名誉教授)

PIの実施主体で、国と総合事務局で開かれた。現滑走路から沖合側に千三百十㍍(八百五十㍍離す増設案を比較するための「PIレポート案」)の内や表現方法をチェック。おおむね当初案通り了承した。

PIの実施期間は、今月十五日から来年二月六日までの約二ヶ月間。増設2案の位置、事業費や工期、整備に伴う経済効果、埋め立て海域や地形への影響などの情報を示し、アンケートなどで意見を求める。対象者は県民、空港利用者、団体や企業など。

の修正を求める指摘のか、アンケートで両案の賛否について選択する項目がないことに疑問が出た。事務局側は「二案は代表的な案として提示するもので、幅広く意見を募るために、記入式とした理由を説明した。

県でつくる那覇空港構想施設計画検討協議会は同日午前、PIを実施する対象として、既存の増設三案から三百十㍍案を削除し、二案に絞り込んだ。

委員からは専門的な表現

「自衛隊機沖合側に」
県、3市が意見交換
那覇空港の地域連絡会議
糸満の周辺3市が意見交換
連絡会議の第2回会合が十
那覇空港の沖合展開につ
いて、県と那覇、豊見城、
糸満の周辺3市が意見交換
連絡会議の第2回会合が十
那覇空港構想段階地
域

一日、県庁で開かれた。
県は二本目の滑走路の
建設位置の候補が、千三百
十㍍と八百五十㍍の二案に
絞り込まれた経緯について
説明。増設案を決定するた
めの構想段階PI(パブリ
ック・インボルブメント)が

十五日から始まることを受
け、説明会や意見募集への
参加を住民に呼び掛けるよ
う広報の協力を求めた。
意見交換では、騒音が大
きい自衛隊機は沖合側の新
滑走路に運用を固定化でき
ないかといった課題が指摘
された。豊見城の座安正
勝企画部長は、「騒音の発生
源は沖合に展開した方がい
い。八百五十㍍案では緩和
の効果があまりないのではないか。この機会に騒音の環境基準を大胆にクリアしてほしい」と強調した。

那覇空港滑走路増設案の構想段階PIの
チラシ配り県民の参加を呼び掛けた仲
里全輝副知事ら15日、県民広場



滑走路で積極意見を

那覇空港広報 PI募集始まる

沖縄総合事務局や県、大
阪航開局つくる那覇空港
構想・施設計画検討協議会
は十五日午後、那覇空港滑
走路増設案の決定に向けた
県民の意見を募る構造簡
PI(パブリック・インボ
ルブメント)を開始した。P
Iのボックスで意見を

Iでは、千三百十㍍と八百
五十㍍の増設二案の説明
会について、県や空港利
用者から意見を募る。
実施期間は十五日から月
六日までの約八週間。
延長は後、三ヶ月間。県
のボックスで意見を
募るほかアンケートやが
き、面接する。
この日より開始した先立
ち、県民広場で始まりがあ
り仲里全輝副知事が那覇
県である沖縄について空港
概要は後の説明を占う重
要なもので「頗るよく」、と考
えつけた。副知事は開始式
後、ミス沖縄の街頭で子
どもを配布し、県民の参加
を呼び掛けた。

那覇空港滑走路 2案のPI開始

来月6日まで

那覇空港構想・施設計画検討
協議会は十五日、同空港の
滑走路増設案(現滑走路と
の間隔が八百五十㍍、千三
百十㍍の二案)について、
住民意見を吸い上げるP
I(パブリック・インボルブメント)

月六日までの約八週間。
同日夕、那覇市の県民広
場で開始式を開催。関係者
数十人が国際通りなどに出
て、両案の比較項目が記さ
れたPIレポート、チラ
シ、アンケートなどを配布
した。増設案の選定に影響
を与えるPIへの協力を呼
び掛けた。

那霸空港構想段階 P.1

1310m
850m

1310m
850m 2案で意見募集

那霸空港構想・施設計画検討協議会 那霸空港構想段階P-I評価委員会

那覇空港構造監修会議 P.I. 計画
委員会が9日、開かれた。
午前中に県庁で開かれた検討協議会で、
自らの滑走路について、
路の冲合に展開について、
210メートル案を含めた
3案から、1310メートル案、
850メートル案の
2案に絞り込まれた。
850メートル案は、9
30メートル案の改良案。
構想段階で、滑走路長を想定される最大規模の3000
メートルから現在那覇空港に定められた航路を予定する
としている機材の離着陸に必要
とする長さであるが、滑走路
トに変更するなど滑走路

長等前提条件に変更が生じたことにより、那覇空港技術検討委員会で改めて瀬長島に改変が生じない最小の

出された」とから検討を行い、850メートル配置案が作成された。

事業費は増設A案は約19
00億円、増設B案は約2
00億円。増設3案は、

県負担は100億円想定

那霸空港滑走路増設

県議会特別委

県議会十一月定例会は十七日、米軍基地関係（渡嘉敷喜代子委員長）、観光振

沖振・那霸空港

インボルブメント」などについて質疑を行った。日本は一九六二年で滑走路増設案の概算事業費は九百九億一千億円と示している。沖撃法は空港施設の建設について国が事業費の95%を補助するのを規定している。現段階の試算には県負担は百億円程度になると述べた。渡辺地政委員(共産)への質問。

二二〇。

12月18日 琉球新報 朝刊2面

那裏寧波溫市路以北

インボルブメント」などについて質疑を行った。日本は一九六二年で滑走路増設案の概算事業費は九百九億一千億円と示している。沖撃法は空港施設の建設について国が事業費の95%を補助するのを規定している。現段階の試算には県負担は百億円程度になると述べた。渡辺地政委員(共産)への質問。

本年度にPI集約

貨物地区の移転・拡充も



一本の空港では国内第二位の多さとなっている。年間乗降客数は約千四百九十万で、国内第七位。

○七年内本工事に着手した新石垣空港の整備は一二年度末の利用開始を目指し、事業を推進する。

○八年内現在の用地取得率は約97%。
那霸港と石垣港の大型旅客船ターミナル整備事業も継続で計上した。現在は荷役作業が行われている岸壁施設で課題が生じている。整備期間はそれぞれ一、二年度までの予定。

○八年内に結果を取りまとめる予定。現在の空港施設を有効活用する方策として、貨物ターミナル地区の移転・拡充なども促進する。

同空港の年間離着陸回数は十二万回を超える。滑走路は〇九年度で完了する。



滑走路増設に向け、構想・施設計画段階での検討が続く那霸空港

滑走路増設を推進

那覇空港 年度内に位置決定



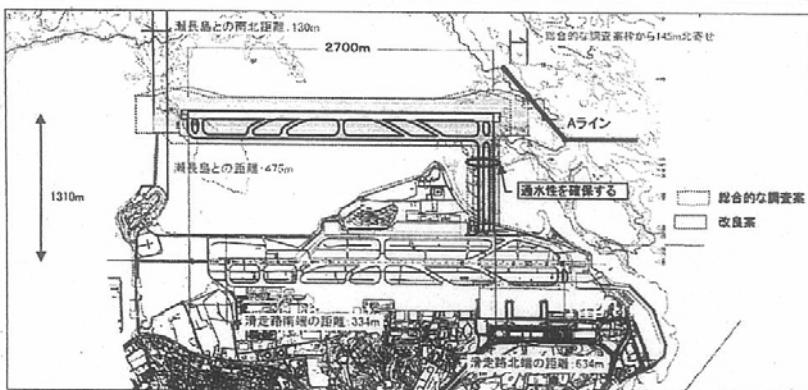
一五年度ごろにも需要に対応できなくなると予測されている那覇空港は、滑走路増設などの抜本的な空港能力向上策を推進する。新石垣空港の整備や那覇港・石垣港の大型旅客船ターミナル整備と合わせて、三百七十億五千万円を計上した。内訳は予算編成の中で決定される。

増設する滑走路は、現行の滑走路との距離が①千三百十㍍②九百三十㍍③二百十㍍の三案の中から検討が進んでいたが、国と県で話し合う那覇空港構構・施設計画検討協

議会は今月、千三百十㍍と八百五十㍍の二案に絞った。現在、広く市民の意見を反映させるPI(アーリック・インボルブメン)ト)を実施中で本年度中に、国土交通省も「地元

に一案へ絞り込む予定。増設案をめぐっては、同時離着陸が可能な千三百十㍍案を推す声が強く、県や周辺市町村、経済界からも要望が出ていた。国土交通省も「地元の意見を踏まえながら検討する」との姿勢だ。また、現空港施設の有効活用方策として貨物ターミナル地区の移転・拡充も促進する。

新石垣空港については、引き続き、航空機の大型化に対応するための整備を進める。〇八年十一月末までに用地取得率は約97%に上っており、国は一二年度末の供用開始を予定している。



那覇空港構想階層P1
(パブリックインボルブメント)が12月15日から2月6日までの間実施されて
いる。昨年まで実施してき
た那覇空港の総合的調査の

構想段階P-I実施中
沖合2案で意見募集に

意見や実施結果をまとめ、その内容を那覇空港技術検討委員会に報告して技術検討の有無を判断してもらいました。追加検討の必要性がなければ、那覇空港構段階PPI評価委員会の議を経たうえで構段階の取組を終了し、施設計画段階へと移行する。

取組みるから、今後は具体的な将来対応策について検討が必要との方向に進んだことから、同プランづくりの基本となる構想段階の検討結果の内容を示したものとなつてゐる。那覇選挙区の議論を踏まえてとりまとめを行い、P-I手続きとして意見募集に入つた。

具体的な施設配置の計画作成に着手し、同年夏には22年度概算要求に向けた概要をまとめるところとなる。順調に推移し22年度に予算化される最初は環境アセスメントや基本設計等のための測量・調査などから入り、公有水面埋め立てなど地域や関係機関の合意を踏まえて20年代半ばからの着工へと進

は総合的調査 P-I 段階で、瀬長島に改変が生じない最小の滑走路間隔として 9.3 ポンドとして検討してきた経緯があるが、滑走路長等前提条件に変更が生じたことから技術検討委員会の意見に基づき、瀬長島に改変が生じない最小の滑走路間隔として改めて 8.50 ポンドの配置案を示したものとなつて

い。 A案とB案の比較は次の通り。かつて内がB案の850mの離隔距離。
▽空避能力＝2030年までの需要に対応可能。ビーカー時の大発着可能回数は42回／時(同じ)、▽

り、底質環境の変化域はさく抑えることが可能。案は岸寄りに配置される。とにより、サンゴや藻場の直接影響はA案に比べ小さいが、礁池生態系や砂・泥干涸生態系への影響が大きい。増設滑走路内側の間が懸念される。など。

が環や内は砂響や

検討の有無を判断して技術検討委員会に報告してもらい、追加検討の必要性がない場合は那覇空港構造段階P1評価委員会の議を経たうえで構造段階の取組を終了し、施設計画段階へと移行する。

沖縄総合事務局／国土交通省では施設計画段階の取

合への隔離距離1310m
案と850m案の2案を示し、その比較を行つて提示しており、市民らかの意見を求めている。
同P-1終了後はP-1への意見や実施結果をまとめ、

討結果の内容を示したものとなつてゐる。那覇空港技術検討委員会の議論を踏まえてとりまとめを行い、P-I手続きとして意見募集に
入つた。

取組みから、今後は具体的な将来対応策について検討が必要との方向に進んだことから、同プランづくり

意見募集中の増設A室
(隔離距離-1310m)と
B案(同850m)の概略図
は次の通り。いずれも現況
走路と平行する長さ270
0mの滑走路を増設するこ
とを基本においている。な
どを記述してある。

い。 A案とB案の比較は次の通り。かつて内がB案の850倍の離隔距離。
▽空避能力＝2030年までの需要に対応可能。ビーカー時の大発着可能回数は42回／時(同じ)、▽

道が水を蓄積する機能を失う。また、底質環境の変化域は、さく抑えることが可能。案は岸寄せに配置される。とにより、サンゴや藻場の直接影響はA案に比べて大きい。礁池生態系や砂・干潟生態系への影響が大きい。増設歩道内側の開性海域は砂質化や砂・泥の堆積等、底質環境の変が懸念される。など。

那覇空港新滑走路
「1310メートルで」

地元3市が共同声明

翁長雄志那覇市長、上原
裕常糸満市長、金城豊明豊
見城市長は二十四日、那覇
市役所で記者会見を開き、
那覇空港の滑走路増設に關
して現滑走路から千三百十
㍍以上沖合に展開するよう
求めるなどの共同声明を発
表した。糸満市が滑走路増
設に關しての意見を表明す
るのは初めてで、地元3市
の意向が一致した。

三市長は「那覇空港の周
辺住民は騒音被害や環境へ
の影響を危惧している」と
指摘した上で「新滑走路を
千三百十㍍以上沖合へ展開
したほうが環境への影響が
少なく、市民への理解も得
られやすい」と強調した。
声明では、県や国に対し
て①滑走路増設を現滑走路
より千三百十㍍以上離す②
航空機騒音の軽減に努める
③地域住民への十分な説明
を行うとともに最大限の情
報提供を行う一の三点を求
めた。

那覇市の翁長雄志市長、
糸満市の上原裕常市長、豊
見市の金城豊明市長の三
首長が二十四日、那覇市役
所で会見し、国などが増設
を計画する那覇空港の新滑
走路について、現滑走路か
ら千三百十㍍以上沖合に離
して建設するよう求めた。

翁長市長は、県の航空機
騒音測定で那覇市真志や豊
見市で構成する那覇空港構想
に与えそうだ。
翁長市長は、県の航空機
騒音測定で那覇市真志や豊
見市で構成する那覇空港構想
に与えそうだ。

翁長市長は、県の航空機
騒音測定で那覇市真志や豊
見市で構成する那覇空港構想
に与えそうだ。
翁長市長は、県の航空機
騒音測定で那覇市真志や豊
見市で構成する那覇空港構想
に与えそうだ。

翁長市長は、県の航空機
騒音測定で那覇市真志や豊
見市で構成する那覇空港構想
に与えそうだ。
翁長市長は、県の航空機
騒音測定で那覇市真志や豊
見市で構成する那覇空港構想
に与えそうだ。

3市長、1310メートル沖合案支持 那覇空港新滑走路騒音軽減を要望

が少ない建設案や潮流調査
の実施を、PIで求めてい
きたい」と述べた。金城市長
は、豊見市の瀬長島で溫
泉宿泊施設の計画があると
説明。「同島が米軍から返還
された三十年前からの念
願」とし、計画に影響を与え
かねない八百五十㍍案を容
認できない考えを示した。

三市は那覇空港の国際貨
物基地構想の実現や観光振
興のために新滑走路案が必
要との認識で一致。翁長市
長は「国などが本年度内に
一本化する意向で、空港近
隣三市で協力することが重
要だ」と強調した。

那覇空港の第2滑走路建設に向け行われている意見聴取(パブリック・インボルブメント)において、同時に離着陸が可能な1310m以上の沖合展開への支持を広げようとして、沖縄経済同友会などがステッカー(写真)を作製、5日から配布を始めた。同友会のほか沖縄観光の未来を考える会が費用

経済界がステッカー

同時離着陸可能
那覇第2滑走路は1310m以上沖合に!
騒音改善

支持訴え

5日の沖縄観光新春の集いでは、来賓の仲井眞弘多知事が長さ約30mのステッカーをはちまきのようく頭に巻き、参加者に「皆さんもアピールを」と呼びかける一幕もあった。

那覇空港滑走路増設

産業振興の基盤に

那覇でシンポ

県民議論呼び掛け

那覇空港の滑走路増設案の決定に向けた「那覇空港構想段階P.I.シンポジウム」(主催・那覇空港構想・施設計画検討協議会)が8日、那覇市のパレット市民劇場で開かれた。パネル討論では、糸谷幸二(日本大教授)、渕辺美紀氏(沖縄経済同友会副代表)が、これまでの在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。

討論では、全日空によると、国際貨物事業など、アジアに近い沖縄は国際交流の拠点となる可能性が大きい

ことで各氏が一致。産業振興や県民生活を支える重要な基盤として、那覇空港の

在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。

パネル討論では、糸谷幸二(日本大教授)、渕辺美紀氏(沖縄経済同友会副代表)が、これまでの在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。

討論では、全日空によると、国際貨物事業など、アジアに近い沖縄は国際交流の拠点となる可能性が大きい

ことで各氏が一致。産業振興や県民生活を支える重要な基盤として、那覇空港の

在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。

パネル討論では、糸谷幸二(日本大教授)、渕辺美紀氏(沖縄経済同友会副代表)が、これまでの在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。

討論では、全日空によると、国際貨物事業など、アジアに近い沖縄は国際交流の拠点となる可能性が大きい

ことで各氏が一致。産業振興や県民生活を支える重要な基盤として、那覇空港の

在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。

討論では、全日空によると、国際貨物事業など、アジアに近い沖縄は国際交流の拠点となる可能性が大きい

ことで各氏が一致。産業振興や県民生活を支える重要な基盤として、那覇空港の

在り方について県民議論を広げるよう呼び掛けた。



那覇空港の将来の在り方を議論したシンポジウム=8日、那覇市のパレット市民劇場

表幹事)、安里繁信氏(日本青年会議所会頭)、アルベルト城間氏(歌手)が意見を述べ、森地茂氏(政策研究大学院大教授)がコントローラーを務めた。城間氏は「国際ルートが増え、那覇-ハワイ-リマという路線ができるといい。世界の

轟氏は「千三百十枚の間隔があれば、将来的には滑走路を同時に使え、処理能力が最大になる可能性が出

てくる。世界的には航空機の中・小型化に伴う多頻度運航がキーワードになつており、それに応じた需要を考えないといけない」と指摘した。

渕辺氏は「人口が激増するアジアでは大旅行時代が起こる。人の流れを受け入れる余地がないとチャンスを逃す。空港建設は五十年先、百年先を見据えないといけない」と強調した。

安里氏は「空港拡張、全日空の貨物事業など、沖縄には地の利だけでなく、この利もきている。この天

のタイミングを逃さないと、この機運の高まりを期待したい」と述べた。城間氏は

「国際ルートが増え、那覇-ハワイ-リマといい路線ができるといい。世界の

轟氏は「千三百十枚の間隔があれば、将来的には滑走路を同時に使え、処理能力が最大になる可能性が出

てくる。世界的には航空機の中・小型化に伴う多頻度運航がキーワードになつており、それに応じた需要を考えないといけない」と指

摘した。

渕辺氏は「人口が激増するアジアでは大旅行時代が起こる。人の流れを受け入れる余地がないとチャンスを逃す。空港建設は五十年先、百年先を見据えないといけない」と強調した。

安里氏は「空港拡張、全日空の貨物事業など、沖縄には地の利もきている。この天



那覇空港滑走路増設シンポ

交流拠点早期整備を

県民論議の高まり期待

日本大学理工学部の轟朝幸教授は、機材の小型化などによって離着陸回数が増える「多頻度運航」の方向性を紹介。「両案とも航空需要は満たしており、地元の理解や環境への配慮が求められる」と県民論議の高まりに期待した。

日本青年会議所の安里繁信会頭は「海で囲まれた沖縄にとって空港は生命線。ANAの構想や滑走路増設

那覇空港の滑走路増設について考えるシンポジウムが八日、那覇市のパレット市民劇場で開かれた。「沖縄の将来像と那覇空港のあるべき姿」と題したパネルディスカッションでは、学識経験者や経済界の代表ら五氏が発言。全日空(ANA)が進める貨物基地構想など、那覇空港がアジアとの交流拠点となる可能性に期待感が示され、新滑走路の早期整備が必要との認識で一致。滑走路の位置選定についても、県民論議を深める必要性が強調された。

国と県でつくる那覇空港構想・施設計画検討協議会が主催。同協議会のパブリックインボルブメント(住民意見の吸い上げ、PI)への関心を高めるのが目的。では現滑走路との間隔を八

トら=8日午後、那覇市・パレット市民劇場

百五十㍍、千三百㍍が離して増設する二案が示され、二〇〇八年度内に一案に絞り込む予定。シンポはPIへの関心を高めるのが目的。

今後の那覇空港の在り方について意見を交わすパネリスト

滑走路増設で
説明会を開催

県内7カ所で

那覇空港の滑走路増設
で、住民意見を吸い上げる
パブリックインボルブメント
(P.I.)に取り組む那覇
空港構想・施設計画検討協
議会(国と県で構成)は、自
同協議会事務局では、自
トさせた。今月末までに県
内七カ所で予定している。

治会など団体の要望に応じ
て個別の説明会も実施する
という。今後の説明会は以
下の通り。

十五日午後二時、沖縄市
民会館中ホール▽二千日午
前十時、県庁▽同午後二時
▽農村環境改善セ
ンタ▽二十一日午後二時、
豊見城市立中央公民館
▽浦添市産業振興センタ
日午後二時、名護市労働福
祉センタ▽二十九日午後二
時、中ホール▽二十九日午後二
時、浦添市産業振興センタ
▽結の街大研修室▽三十
日午後二時、名護市労働福
祉センタ

那覇空港 騒音対策・機能最大化訴え

【豊見城】那覇空港の新滑走路増設計画についての理解を深めようと一日、夫島沖縄大使で空港問題に詳しい不動産運用管理会社専務の香取義氏の講演会が市役所で開かれた。香取氏は騒音の発生対策として、新滑走路を現滑走路から三千㍍以上離して建設する必要性を強調。その上で「市を中心とする周辺の住民や自治体の要望をまじめ関係機関に訴えていくべきだ」として豊見城、那覇、糸満の本島近隣三市による対策協議会の設置を提案した。



1310m以上沖合に新滑走路を建設することの重要性を語った香取義氏
=豊見城市役所

また、住民意見を集約するため国などが実施しているパブリックインボルブメント(P.I.)が、まるで「住民の関心は国を動かす力になる。一人でも多くP.I.に参加し、市民としての意見を表明してほしい」と呼び掛けた。

金日空の国際貨物基地が稼働した場合、アジア各国からの貨物専用機が深夜零時から午前一時に那覇空港に到着し、貨物を積み替えて午前三四時に離陸するようになることを説明。

一方、「北海道、九州、四国はすべて島やトンネルで本州と連絡しているのに、沖縄だけは唯一の

美ら島大使
香取さん講演

近隣市で協議会を

「新滑走路 1310メートル沖に」

豊見城



騒音対策の重要性について説明した講演に真剣に耳を傾ける参加者ら

『完全離島県』だ。せめて那覇空港の機能最大化が國の責任だ」と強調した。講演会には市商工会や各区長ら約八十人が参加。県の航空機騒音測定で県内最多の一日百八十回の騒音を記録している市商根の大城徳治会長は「自治会全体会でもつと関心を持って空港問題を考えていきたい」と話した。



香取嘉信氏

沖合展開で騒音抑制

那覇空港拡張 香取氏が講演

豊見城

【豊見城】豊見城市民「備計画を考える講演会」の視点で那覇空港拡張整

「豊見城市民から見た那覇空港第二滑走路のあり方」が二日、豊見城市役所で行われた。美ら島沖

新滑走路について、沖合

千三百十地点と八百五十

地点に絞り込んでいる。

香取氏は、同計画実現

により、アジア諸国との

人や物流が増えるメリッ

トを説明する一方、地元

は市民の意見を集約する

トを説明する一方、地元

那覇空港構造・施設計

画検討協議会では現在、

新滑走路について、沖合

千三百十地点と八百五十

地点に絞り込んでいる。

香取氏は、同計画実現

により、アジア諸国との

人や物流が増えるメリッ

トを説明する一方、地元

は市民の意見を集約する

トを説明する一方、地元

住民の騒音被害が広がってはならないとして「沖合になればなるほど、発展する豊崎や周辺住宅街で、騒音被害は抑えられる」と述べた。同計画について、県や

経済界、近隣市町村は騒音や将来の物流への影響

を考慮、千三百十地点を

支持している。

4. 【参考2】その他構想段階を紹介する新聞報道

日付	新聞紙名		見出し
平成20年 2月1日（金）	琉球新報	朝刊2面	政府構想に着手 協議会設置、位置決定へ
	沖縄タイムス	朝刊1面	案絞り込み着手へ 08年度から国、検討協を設置
8月8日（金）	琉球新報	朝刊2面	新滑走路10月までに一案 P I実施し位置確定
	沖縄タイムス	朝刊2面	年度内にも案絞り込み 国・県が協議会発足
8月20日（水）	沖縄建設新聞	2面	「100年後を見据えた視点で検討を」 那覇空港の将来像で会合
9月23日（火）	琉球新報	朝刊3面	新滑走路長さ2700メートル 連絡誘導路は1本に
	沖縄タイムス	朝刊2面	滑走路間隔3案検証 P Iに複数案提示へ
9月30日（火）	琉球新報	朝刊5面	促進連が運動本格化 ステッカー作成、配付
10月1日（水）	沖縄建設新聞	2面	滑走路2700メートル、環境配慮の修正案を提案
			1,310メートル沖合案を支持 豊見城市・金城豊明市長が声明
10月4日（土）	沖縄タイムス	朝刊2面	有識者P I評価委設置 那覇空港滑走路増設案で
10月5日（日）	琉球新報	朝刊2面	那覇空港滑走路P I手法を協議 評価委が初会合
10月25日（土）	琉球新報	朝刊2面	1310メートル、930メートルの2案に 滑走路位置で意見公募
	沖縄タイムス	朝刊2面	210メートル間隔案を除外 検討委「地元が反対」
10月27日（月）	沖縄タイムス	朝刊13面	騒音軽減には最も沖合で 金城豊明市長に聞く
11月10日（月）	港湾空港 タイムス	1面	最沖配置案が有力に 建設費、環境優れる

政府構想に着手

那霸空港滑走路増設



滑走路増設に向けた構想段階に入ることを表明する沖縄総合事務局の吉永清人開発建設部長（中央）一31日午後2時すぎ、那覇市の竹原ハーバービューホテルクフウンブンリ



—
—
—

【閣府】国土交通省でつくる「那覇空港調査会連絡調整委員会」が二十一日、那覇市の沖縄八八一ビルにてホルクリップアゲで最終会を開いた。那覇港の航行方針として「将来の需要に対応が必ず然れどあり、滑走路増設を含めた対応策が必要」との最終報告書をまとめ、公議を解散した。会議後の記者会見で内閣府沖縄総合事務局の古水清人開発建設部長は「今後は速やかに構想政策を施行したい」と述べ、「一〇〇〇年度からの滑走路増設に亘る具体的な検討」に入る」と表明した。

ことを表明した。

このノ生因太子ノ所不當其處に付したる體的なる謂心ノ

協議会設置、位置決定へ

道を決めたい」と述べた
滑走路をめぐらしは、
現在の滑走路より海側に
①十二四十九の九百三十
メートル二百十メートルで新
滑走路を建設する二案が
既に提出されており、麻
議会のもの十から二案に
渡り込む大討伐。

那覇空港・新滑走路

案絞り込み着手へ

08年度から国、検討協を設置

那覇空港の新滑走路の
増設に向け、二〇〇八年
度から具体的な新設案の
絞り込み作業がスタート
する。空港整備主体の国

（内閣府沖縄総合事務
局、国土交通省大気航空
局、国土交通省大気航空
局）は、県も参加する那
覇空港構造階層検討協議
会（仮称）」を新たに設
置し、滑走路案の絞り込
み着手。今年秋をめど

那覇空港の将来の在り
設の構想・施設計画の検
討を進めていくことを了
承した。

同連絡調整会議では、
〇三年度から那覇空港の
将来の方策を検討する総
合調査を三段階で実施。
これまでの調査では、一
〇一五年度（約）には
「夏季の需要増加に対応
できない恐れがあり、県
経済に影響を与える」と
予測。昨年実施した最終
段階の調査ノック3で、最大規模の三千㍍の
滑走路を、現在の滑走路
から沖合に「百十㍍」
「九百二十㍍」「千三百
十㍍」に離す二段設置を
提示した。

会合後、記者会見した
沖縄総合事務局の吉永清
人開拓建設部長は「那覇
空港の能力が近々逼迫す
る状況について、県民の
意見は空港能力を増やす
ことが必要という意見が
多く、具体的な方策を示
す段階にきた」と説明。
滑走路増設の絞り込みを
技術的な面から検討する
「那覇空港技術検討委員
会（仮称）」を設置するこ
とも明らかにした。



那覇空港検討協

新滑走路10月までに一案

P-I実施し位置確定

那覇空港の滑走路増設方法を三案から一案に絞り込む那覇空港構想・施設計画検討協議会が七日付で発足し、同日、ロワジールホテル那覇で初会合を開いた。沖縄総合事務局長と国土交通省大阪航空局長、副知事で構成。十月ごろまでに一案に絞り込み、今秋からP-I（パブリック・インボルブメント（住民意見の聴取）を四ヶ月程度実施、年度内にも新滑走路の位置が確定する。初会合では専門家十二人で構成する那覇空港技術検討委員会を早期に設置し、滑走路位置を技術的・実務的に検討する方針を確認した。

那覇空港の拡張は、航空需要への対応策を幅広く検討するこれまでの「総合調

那覇空港滑走路増設の技術検討委員会初会合（7日、ロワジールホテル那覇）

にはターミナル位置などを検討する「施設計画」の段階に入り、その後、事業採択されれば設計に着手する。

会合ではP-Iの手法を検討し結果が妥当か判断する

那覇空港構想段階P-I評価委員会の設置も決めた。

増設の三案の位置は、現

在の滑走路より海側にそれ

ぞれ①千三百十㍍②九百三

十㍍③二百十㍍。

会合で仲里全輝副知事は

「那覇空港は沖縄の命運を

左右する。（拡張の）チャ

ンスはそうない。五十年、

百年の長期的視点で判断す

べきだ。日本の一部として

でなく近隣国とのつながり

も考慮すべきだ」と強調。

二本の滑走路で同時離着陸

が可能な千三百十㍍案を採

用するよう暗に求めた。

これに対し片平和夫大阪

航空局長は「立派な空港に

したい思いは同じ」としつ

つ、「概算事業費や工期も

より精度の高い調査で選択

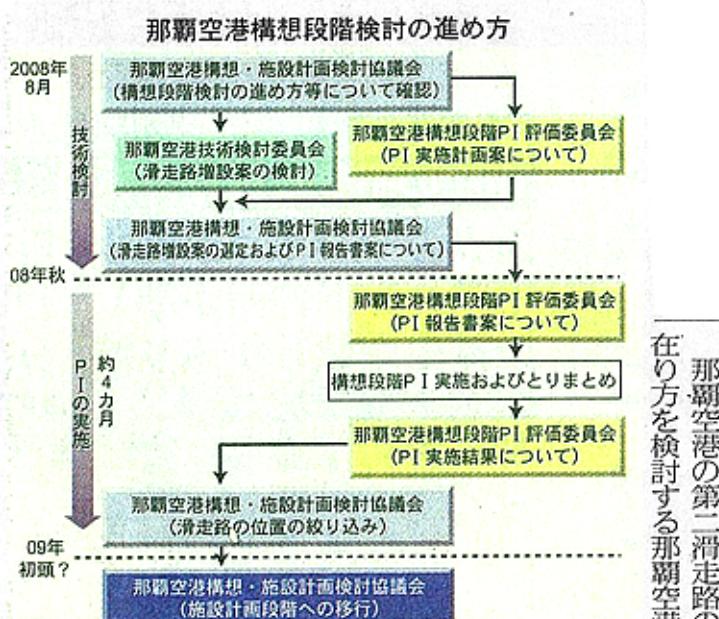
し、悔いを残さぬようにな

たい」と述べ、工費なども

検討材料とする考え方を示

した。

た。



年度内にも案絞り込み

那霸空港 新滑走路 開通式 国・県が協議会発足

那覇空港の第二滑走路の在り方を検討する那覇空港

構想・施設計画検討協議会
が七日発足し、那覇市内の
ホテルで第一回会合を開く。

これまで部長クラスによる調査連絡会議で三段階のⅠを実施しきが、今年二

への影響を避けることも
めた。

仲里全輝副知事は「（国は）長期的視点で考えてほしい」と、千三百十駅以上沖合への滑走路建設を求めた。瀬長島への影響を避けることも求めた。

空港利用者などに意見を聞くPI（パブリック・インボルブメント）に着手。並行して、専門家の判断を反映するための技術検討委員会を設置するなど、今後の協議の枠組みを確認した。PIは四ヶ月程度で結果をまとめ、早ければ本年度内にも滑走路の位置や規模を絞り込む。

月にステップ3が終了し、滑走路増設が「構想段階」に移行したことを踏まえ、メンバーを格上げして絞り込みを本格化することになった。PI実施に伴い、専門家五人で構成するPI評議委員会も設置する。

技術検討委員は環境や航空運航などの専門家十二人が務め、これまでに挙がった三案(一本の滑走路の間隔が千三百十㍍、九百三十五㍍、一百十㍍)の修正作業なども担う。どの案を採用す

これに対し、国土交通省大阪航空局の片平和夫局長は「那覇空港が沖縄県にいかに大事な社会資本であるか、痛切に感じている」と答える一方、「エアライン（航空会社）にも使いやすい便利な空港でなければならない」と指摘。直接的な言及は避けながらも、千三百十條案では航空機が離陸するまでの地上走行距離が長くなることを念頭に、慎重姿勢を示した。

るかは最終的に協議会で確認し、施設計画段階に移行する。

「100年後を見据えた視点で検討を」



那覇市内で行われた那覇空港構想・施設計画検討協議会

検討協議会は内閣府沖縄総合事務局長、国土交通省大臣、沖縄県副知事で構成され、①那覇空港の将来対応方策、②那覇空港の具体的な施設計画、③那覇空港の①②の検討に係る情報提供、意見収集の実施策を検討する。那覇空港技術検討委員会は学識経験者、有識者で構成され、那覇空港の構造問題等における技術専門的な次の事項について指導・助言を行う。①技術専門的検討に用いる解析手法、②技術専門的検討を行るべき内容や検討過程および検討結果の妥当性、③その他の技術的・専門的技術に係る

那覇空港の具体的な構成段階の検討を進める第1回那覇空港構構・施設計画検討協議会が7日、那覇市内ロワジエールホテルにおいて開催された。

これまで、内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局、沖縄県3者は那覇空港調査連絡調整会議を開設し、平成15～19年度にかけてパブリックインボルブメント（P-I）による

那覇空港の総合的整備工事を実施した。その結果、2010年～2015年度頃には、那覇空港を中心とした施設では増加する需要に対応できない恐れがあること、県経済に与える影響が大きいと予想された。結果を踏まえて、平成20年1月、那覇空港調査統括監査会議は、那覇空港について、は今後具体的な持続対応方策の検討を進めることが望まし

いとの結論を示した。これらを踏まえ、内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航管局は、「構想段階」の検討を実施することを決定した。

7日に示された那覇空港構想段階検討の進め方（案）では、那覇空港構築・施設計画検討協議会、那覇空港構想段階検討委員会、那覇空港技術検査委員会、構想段階P-I評価委員会の3つの組織を軸に検討が進められていくことになる。

る事項。
また、那須空港権限改訂
P-I 評議委員会は委嘱され
た委員によって構成され、
次の事項の評議及び助言を
行う。①P-I実施計画に関する

実施計画案等を承認した。
仲里副知事は検討にあたってして次の3点の要望を述べた。
①航空に依存せざるを得ない沖縄にとつて、将来を左右する重要な基盤

20～30年後のスペインはなく、100年後を見据えた長期的な視点で検討して貰いたい。沖縄の命運を左右する基盤である。た、近隣諸外国との関係

那覇空港の将来像で会合 構想・施設計画検討協議会

構想・施設計画検討協議会

す(2)①P-1実施期間
中のP-1活動に関する(2)
③P-1実施計画に関する(1)
と。(各組織と検討の進め
方のフローについては図1
を参照)
議事は各委員会設置要綱

港空委検討技術那覇

新滑走路長さ2700メートル

連絡誘導路は1本に

那覇空港の一本目の滑走路の位置や規模を検討する那覇空港技術検討委員会の初会合が二十二日、那覇市の水産会館で開かれた。前提条件として滑走路の長さを二千七百メートル

地盤への連絡誘導路は一本とする」とを確認した。前年までの総合的調査の段階では、滑走路とは別に空港関連施設を整備するための「展開用地」として五十秒を確保する想定だった

那覇空港技術検討委員会は、

那覇空港の滑走路増設の構想について、事務的な立場から助言を行う那覇空港技術検討委員会（委員長・

構成。委員長に屋井鉄雄・

東京工業大学院教授を選

出した。沖縄総合事務局は航空需

要予測を新たに精査し、那

屋井鉄雄東京工業大学大

学院教授の初会合が二

十一日、那覇市内で開かれ

た。従来よりの詳細なデータ

を踏まえ、調査踏査で三千

メートルとしていた滑走路の長さ

を二千七百メートルに縮小する

としたを前提条件に、滑走

路増設の三案（現滑走路と

の距離が三百メートル以上

以下、一千三百メートルを比較

・検証する方針を確認し

た。

屋井委員長によると、公

の

二十八回まで増えると設定

した。

那覇空港拡張

滑走路間隔3案検証

技術検討委PIに複数案提示へ

那覇空港の滑走路増設の構想について、事務的な立場から助言を行う那覇空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄東京工業大学大学院教授）の初会合が二十一日、那覇市内で開かれた。従来よりの詳細なデータを踏まえ、調査踏査で三千メートルとしていた滑走路の長さを二千七百メートルに縮小することを前提条件に、滑走路増設の三案（現滑走路と現滑走路との距離が三百メートル以上、一千三百メートルを比較・検証する方針を確認した。

那覇空港の滑走路増設の構想について、事務的な立場から助言を行う那覇空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄東京工業大学大学院教授）の初会合が二十一日、那覇市内で開かれた。従来よりの詳細なデータを踏まえ、調査踏査で三千メートルとしていた滑走路の長さを二千七百メートルに縮小することを前提条件に、滑走路増設の三案（現滑走路と現滑走路との距離が三百メートル以上、一千三百メートルを比較・検証する方針を確認した。

那覇空港滑走路 1310メートル以上沖合に

促進連が運動本格化

那覇空港の滑走路増設について、自治体や県経済界などでつくる那覇空港拡張整備促進連盟は、現滑走路から十三百十㍍以上沖合側に一本目を新設する案を訴え、本格的運動を始めた。ステッカーを一万枚作成し、企業などへの周知を図っている。連盟の知念栄治会長、県経営者協会会長は「現滑走路と同時離着陸できる滑走路を建設することで、将来の航空需要拡大に備える」ことができる。実現に向けたうねりをつくりたい」と話している。

ステッカーは九月初めに一
310(いざい) い
成。県經營者協会や沖縄
商連同友会などの例会など
を通し、県内企業を中心
に陸できる間隔です!」
（音

月初めに国土交通省への要請行動を展開した。今秋には増設案の住民意見の聴取が予定されている。国側は、建設費抑制の観点から一千三百七十㍍以上案に慎重姿勢を崩してはいない。

知念会長は五十年、百年後を見据え、アジアの玄関口として人的交流と物流拡大を点としての拡張性が高い沖合千三百メートル以上案を実現したい。県民全体の運動に发展させたい」と話している。広報活動強化の一環として、同連盟はステッカー増刷も検討している。

点としての拡張性が高い沖合三千三百メートル以上を実現したい。県民全体会員の運動に発展させたい」と話している。広報活動強化の一環として、同連盟はステッカー増刷も検討している。



那覇空港の増設滑走路について、1,310メートル沖合案支持を表明した金城豊明市長

那覇空港の増設滑走路について、1,310メートル沖合案支持を表明した金城豊明市長

3案のうち、1,310メートル沖合に整備する案を強く支持する声明を県内自治体で初めて発表した。豊見城市議会は6月定例会で、

6月に町村信孝官房長官が同案を希望しており、県としては追い風となつた。

一方、那覇空港の滑走路増設については沖縄総合事務局長、国交省大阪航空局長、副知事で構成する那覇空港構想・施設検討協議会が、10月頃を目処に計画案（現滑走路との距離を①1,310メートル、②930メートル、③210メートル）から一本へ絞り込むとしている。

豊見城市は、210メートル案は瀬長島への影響が最も大きいとして明確に反

う増設滑走路について豊見城市の金城豊明市長は9月19日、同市役所で記者会見を開き、滑走路建設計画の

3案のうち、1,310メートル沖合に整備する案を強く支持する声明を県内自治体で初めて発表した。豊見

城市議会は6月定例会で、310メートル沖合に整備する案の採択を求める決議を可決している。

また、仲井眞弘多知事も

6月に町村信孝官房長官が同案を希望しており、県としては追い風となつた。

一方、那覇空港の滑走路増設については沖縄総合事務局長、国交省大阪航空局長、副知事で構成する那覇空港構想・施設検討協議会が、10月頃を目処に計画案（現滑走路との距離を①1,310メートル、②930メートル、③210メートル）から一本へ絞り込むとしている。

豊見城市は、210メートル案は瀬長島への影響が最も大きいとして明確に反

那覇空港拡張整備

1、310メートル沖合案を支持 豊見城市・金城豊明市長が声明

対と表明。金城市長は同案の理由として、瀬長島は同市の発祥の地であり、多くの文化財が残されてい

ること、既に温泉施設付きの宿泊施設の建設が民間業者により進められ観光活性化への影響が出ること、土地を切り取り島の土地の質変更を伴つこと、今後の離着陸回数増加、自衛隊のF15配備計画など航空機騒音の懸念などを挙げた。

また、930メートル案については、県全体の観光・リゾート産業などの振興のためにも、離着陸の回数の最大化や2本の滑走路がそれぞれ独立に運用できるオーバーラル化が重要だとし、930メートル案では

オーバンパラル化の国際基準を満たさないとして反対を表明した。豊見城市は周辺の那覇市、糸満市と連携し、国や県に要請して行きたい方針だ。

「那覇空港構想・施設検討協議会」の下に設置された「那覇空港技術検討委員会」の第一回の会合が9月22日に沖縄水産会館で開催

されたおり、3案に対する基準を満たさないとして反対を表明した。豊見城市は周辺の那覇市、糸満市と連携し、国や県に要請して行きたい方針だ。

那覇空港構想・施設検討協議会」の下に設置された「那覇空港技術検討委員会」の第一回の会合が9月22日に沖縄水産会館で開催された同協議会で「那覇空港の整備」というのは千載

の意向を示していることから、沖合展開には慎重に対応している。また、仲里全種副知事は8月7日に開催された同協議会で「那覇空港の整備」というのは千載

のチャンスとして捉えており、20～30年後のスパンではなく、100年後を想定して貰いたい。沖縄の運命を左右する基盤である。また、近隣諸外国との関係を展望した視野を見据えて「見据えた、長期的な視点で検討して貰いたい」と建設費抑制に対する意を示す。また、近隣諸外国との関係を展望した視野を見据えて「見据えた、長期的な視点で検討して貰いたい」と建設費抑制に對応している。また、仲里全種副知事は8月7日に開催された同協議会で「那覇空港の整備」というのは千載

のチャンスとして捉えており、20～30年後のスパンではなく、100年後を想定して貰いたい。沖縄の運命を左右する基盤である。また、近隣諸外国との関係を展望した視野を見据えて「見据えた、長期的な視点で検討して貰いたい」と建設費抑制に對応している。また、仲里全種副知事は8月7日に開催された同協議会で「那覇空港の整備」というのは千載

有識者P.I.評価委設置

那覇空港滑走路増設案で

計画検討協

那覇空港の滑走路増設案の絞り込みについて県民意見などを募るパブリック・インボルブメント（P.I.）の実施に向け、那覇空港構想施設計画検討協議会（国県で構成）は三日、外部有識者による構想段階P.I.評価委員会を設置した。P.I.を求めるための滑走路の位置や空港用地は既存滑走路との間隔が二百十㍍、九十㍍、九百三十㍍、千三百㍍などだ。同飛行場の滑走路増設案は、那覇空港の範囲の埋め立て面積や事

業費の規模③費用対効果④周辺環境への見通し－など的情報を提供することを確認。十一月以降に約四ヶ月かけてP.I.を実施し、同委員会が評価する。同委員会は学識経験者ら五人で構成。互選で高橋清球大学名誉教授を選んだ。屋井委員長は十月中旬に開く次回会合でも一案には絞り込まれない考え方を示している。事務局はP.I.評価委員会が近いところから、九百三十㍍、千三百㍍の両案がP.I.にかかる可能性が高いとみられる。

那覇空港滑走路 P.I.手法を協議

評価委が初会合

那覇空港構想段階P.I.評価委員会の第一回会合が三日、沖縄総合事務局で開かれ、委員長に上間清氏（琉球大学名誉教授）が選任された。

P.I.（パブリック・インボルブメント）住民意見の聴取の手法などについて協議した。

同委員会は、那覇空港構想・施設計画検討協議会が、近く予定している新滑走路の位置に関するP.I.の段取りや結果を評価するため設置された。P.I.実施後、年度内にも評価をまとめる。

那霸空港拡張

第一回那霸空港技術検討委員会（委員長・屋井鉄雄 東京工業大学院教授）が二十四日、那霸市の県水産会館で開かれた。那霸空港の二本目の滑走路の位置や規模について県民の意見を聞く構想段階P-I（パブリ

ロードに関する滑走路増設隊を確認した第2回那覇空港技術検討委員会は24日、那覇市の県水産会館



検討委 滑走路位置で意見公募 1010メートル、930メートルの2案に

ツク・インボルブメント) に提示する滑走路増設案と評価内容を決定した。

下の一案でP-Iを実施する方向性で一致した。
今後、国と県で構成される那覇空港構想・施設計画検討協議会で委員会の検討結果が報告され、P-Iに提示する内容が最終確定する。同協議会は四ヵ月程度のP-I実施期間を経て、本年度中にも増設案を一案に絞り、

備促進連盟も二十三日、九千三百十leur案の支持を発表していた。

委員会の席上で県の上原良幸企画部長は空港周辺自治体の意見を報告した上で、「地元の懸念を考えると、陸地に近い案の受け入れは困難だ。県としても那覇空港はアジア諸国の空港と肩を並べる可能性があると考えており、将来展望を踏まえた積極的な取り組みをお願いする」と述べた。

検討対象となつていた主三百十絆、九百三十絆、一百十絆の増設三案のうち、

市、豊見城市は騒音問題をはじめ、瀬長島や大嶺の改変を回避するという観点

増設案の比較では、十三
百五十九百三十枚の両案とも
一日発着回数が五百九回
まで向上し、将来需要に対
応が可能となる。これに対
し三百十枚案は発着回数が
四百五十五回にとどまり将来
需要に対応できない上、二
案に比べて経済波及効果が
百四十億円の損失になると
試算されていた。

一
込む予定だ。

10月25日 沖縄タイムス 朝刊2面

那霸空港増設滑走路

那覇空港増設
話し合の那覇空港技術検討委員会（委員長、
屋井鉄雄東京工業大学大学院教授）が二十四
日、那覇市の水産会館で開かれた。現行走路
との間隔を二百十メートル、三百三十メー
トル、四百三十メートルの三案を提出した。
が離して建設する三案のうち、パブリックイ
ンボルブメント（P.I.、住民意見を吸い上げ
る仕組み）の対象から二百十メートル案を除外すべ
きとの認識で一致した。

検討委員会が反対

210メートル間隔案を除外

百十数種案を基本に、空港能力や利便性などを評価項目とするとして実施の方向性を確立。同技研検討委員会を通過すれば、来年も開かれる那覇空港・施設計画検討協議会に正式決定される。二百十数案が除外された理由について、屋井委員長は、地盤が瀬良、島や大瀬崎の地形変化を防ぐため、元から受容できないとする声が強い。過去のP.I.でも同様の反対意見が

た。ただ、九百三十件案と千三百十一件案を比較した場合、埋め立てに伴うサンゴの消失面積、航空機の地上走行距離などを除き、多くの評価項目で千三百十件が有利とみられる。

屋久島長良は「ソロット・デメリット」をほりきりと述べたため、九百三十件よりだわらず、別の案を検討することも必要だ」と国側に注文を付けた。

那覇空港の滑走路増設1310メートル案

金城豊明市長に聞く

【那覇市】那覇空港の滑走路増設について那覇空港技術検討委員会は二十四日、現滑走路から沖合に展開する三案から三百十メートル案を除外した。今後、残りの九百三十メートル、一千三百十メートルの二案を比較検討するほか、住民の意見を聞き、本年度中に増設案を一案に絞り込む見通しだ。滑走路増設について、航空機騒音の懸念や瀬長島への影響を理由に、一千三百十メートル案を支持している金城豊明市長に、空港拡張に求める要望などを聞いた。

(聞き手)南部総局・仲本利之

騒音被害は。

「県が行った那覇空港周辺の航空機騒音測定で、市与根のうるささ指数が十年連続で環境基準を越えるなど、航空機騒音がわが市の住民騒音の不安もある。滑走路整備では騒音の発生源対策を国港周辺三市の意見を聞く『地域連絡会議』では、九百三十メートル、最も沖合の一千三百十メートル案が提出され、現滑走路を建設し、周辺騒音の削減について、滑走路の位置を沖縄本島側に移動した音や飛行機の進入経路などを修正案が提示され、正直懸念されるが、空港拡張計画との調



航空機騒音や瀬長島開発に対する懸念を示し、1310メートル案の重要性を語る金城豊明市長
=那覇市役所

騒音軽減には最も沖合で

「騒音被害は。
県が行った那覇空港周辺の航空機騒音測定で、市与根のうるささ指数が十年連続で環境基準を越えるなど、航空機騒音がわが市の住民騒音の不安もある。滑走路整備では騒音の発生源対策を国港周辺三市の意見を聞く『地域連絡会議』では、九百三十メートル、最も沖合の一千三百十メートル案が提出され、現滑走路を建設し、周辺騒音の削減について、滑走路の位置を沖縄本島側に移動した音や飛行機の進入経路などを修正案が提示され、正直懸念されるが、空港拡張計画との調

空港機能高め観光振興を

整が整っていない』として県建築指導課の許可が下りていない。しかし、県から観光振興につながる施設を開発するのに、同じ県が『得た』をかけるのは整合性がないのではないか。県全体の観光の発展に寄与する瀬長島開発の早期実現に協力を求めたい」

「空港拡張について國への要望は。

「仲井真県政が目標に掲げる『観光客一千万人』を達成するため、同時に離島開発ができるオープン・パラレルの運用が可能な一千三百十メートルの運用が可能な一千三百十メートル案を希望している。この案では滑走するのか、具体的に示してはるが、空港拡張計画との調

案について、滑走路の位置を沖縄本島側に移動した音や飛行機の進入経路などを修正案が提示され、正直懸念されるが、空港拡張計画との調

港湾空港タイムス

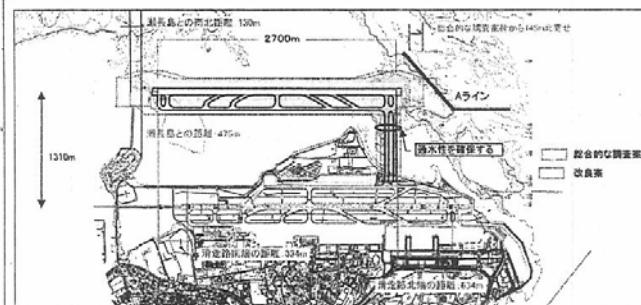
(1) 第1131号

2008年(平成20年)11月10日(毎週月曜日発行)

那覇空港沖展

最沖配置案が有力に

技検委 建設費、環境優れる



10月24日平成20年度第2回那覇空港技術検討委員会が開催され、昨年度までにまとめて実現された那覇空港沖展構造案による那覇空港沖展開催の各路線(滑走路延長700m)の比較検討について技術検討委員会は、前回の審議事務局、大蔵省、路線の開闢工事に影響する現地踏査が実施され、港島との距離1310mに沿うて那覇空港構造案と、中としている航空機の予約環境、▼標準費▼費用便益分析、▼騒音波効果、▼総合費▼をそれぞれ示した。同日示された「バーフィンクインボーリブ

ン」手続に入る方針

那覇空港の沖展開催では現

沖展開構造は3案の候補

のうち、一番沖側(第2滑走

路)の開闢工事に影響する

路線を増設するにあた

るが、コスト面や環境

の配慮などから優れてい

るとの評価になっている。

港島は現、那覇空港構造案

設計計画を協議会の場

に内定せず、とどまらず住

民の意見を聞くため年内

沖展構造案と現地踏査

を実施するにあたる。

手続を行って取り組みを進

めます。

手続を行って取り組みを進

むことになります。

手続を行って取り組みを進

むことになります。

手続を行って取り組みを進

むことになります。

手続を行って取り組みを進

むことになります。

手続を行って取り組みを進

むことになります。

手続を行って取り組みを進

むことになります。

手續を行って取り組みを進

むことになります。

埋立面積が最も大きい、冲

港島への影響については

じ。

△930m案=1310

【3案の総合評価】

第2回那覇空港技術検討委員会に示された3案の総合評価

委員会による評価

△1310m案=空港能

力が大きく、需要に十分

対応でき、かつ算工期が

最も短い、また一本の滑走

路が開闢される場合でも進

用が可能である。なお、長

期的な拡張も柔軟に対応

可能である。

環境への影響について

は、サンゴ礁生態系への直

接的影響及び潮流の変化

が大きい。しかし、サンゴ

礁生態系への影響について

は、サンゴ礁生態系への直

接的影響及び潮流の変化

が大きい。しかし、サンゴ

礁生態系への影響について